

宇美町

エコトリコ

(2020年広報7月号)



本稿が宇美町の皆さんのお手元に届く7月中旬には、コロナ禍は静まっているでしょうか？

5月に緊急事態宣言は解除されたものの福岡県下では増え続け、5月下旬には1日の感染者数が東京都よりも多い日が幾日ありました。県内でも糟屋郡内で29人の感染者数が確認されており、福岡市・北九州市・久留米市に続いて4番目の多さです。コロナ禍を収束させるのは私たち一人ひとりの思いと行いに左右されることは明白ですが、同じことが地球温暖化防止にも言えます。

コロナ禍のように短期間で生命を脅かすことはありませんが、地球全体を徐々に生物全部が住み難くなりつつある現況に世界中で警鐘が鳴らされていることをご存じだと思えます。「お互いがお互いを思いやる思いと行い」が地球温暖化防止につながると思います。「地球温暖化防止と何の関係があるか？」と思われるかもしれませんが、思いをぜひ共有していただけたらと思います。スーパーマーケットやホームセンター・公共の建物の駐車場の入り口近くに「思いやりスペース」が設置されていますが、そこに「空いているから」と平然と車を停めている人が

多くなっているように思います。「思いやりスペース」に停めたからと言って交通違反切符を切られたり、罰金を払わなければならないことにはなりません。そのスペースが必要な方たちのことを思うと、厚顔無恥な行いと言わざるを得ないと思います。何よりこのような行いを子供たちが見て育ち、当たり前のように繰り返すような大人になったら？と想像すると怖くなります。このような行いを平然とできる人に「地球温暖化防止」の話をして他人事でしかないと思います。

この「思いやりスペース」は何故空けてあるのか？を子供たちにしっかりと教えて、他の人への思いやりあふれる大人に育つようにみんなが協力すればもっといい世の中になると思えます。

今年は宇美町で開催が予定されていた町制施行100周年の記念行事の多くが中止となりましたが、「見つめようこの100年、うみ出そう次の100年」このスローガンは何時までも心に留めておきたいものです。

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆